

孤高の彫刻家 村山琴泉

村山琴泉（1885-1967）は、明治から昭和を生きた前橋出身の彫刻家です。1900年に上京し、牙彫家の金田兼次郎のもとで学び、《猿曳》（1903年）《観月》（1904年）《輜重兵（しちょうへい）》（1908年）などで頭角を現し、めざましい活躍をみせます。しかし、兵役を終え1910年に帰郷後は木彫に専念、次第に団体展から遠ざかり独自の道を歩むようになりました。牙彫で培った繊細な彫りを活かして肖像彫刻などの注文に応えたほか、晩年には「琴仙焼」と称した石彫も制作しました。彫刻の歴史を多角的にとらえる試みが盛んな今、幸いにもご遺族の努力によって保存され、地元の熱心なコレクターによって蒐集された作品の数々から、孤高の彫刻家と称される村山琴泉の作品を美術館で初めて取り上げます。



村山琴泉《天狗像》木彫
所蔵：ハラサワコレクション
photo：毛利聡



村山琴泉《羊》木彫
所蔵：ハラサワコレクション
photo：毛利聡



村山琴泉《獅子舞》木彫、琴仙焼
所蔵：ハラサワコレクション
photo：毛利聡



村山琴泉《獅子舞》木彫
所蔵：ハラサワコレクション
photo：毛利聡

展示名

特別展示「孤高の彫刻家 村山琴泉」

会期

2026年9月19日（土）から11月8日（日）

開館時間

午前9時30分から午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日

月曜日（9月21日、10月12日は開館）、9月24日（木）、10月13日（火）

会場

2階 展示室4・5

観覧料

コレクション展示（特別展示を含む）

一般300円、大高生150円

20名以上の団体割引料金 団体一般240円、団体大高生120円

注：中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名、群馬県民の日（10月28日）に観覧される方は無料